

PELRE

プリーツスクリーン ペルレ

ペルレ 25
ペアタイプ
(ワンチェーン式)

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない禁止の行為です。



必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください



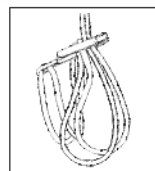
警告

- お子様を製品に近づけないでください。操作チェーンが体に巻きつく等して、思わぬ事故を招く恐れがあります。

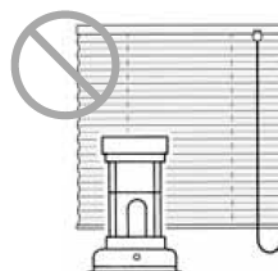


※コードクリップ(付属品)について

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。



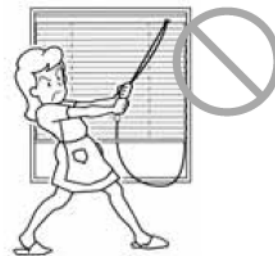
- 火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



安全上のご注意（必ずお守りください）

注意

- 製品にぶら下がったり、無理に引っばったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。
- 製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損することがあります。
- 風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながる可能性があります。



お取付けになる前にお読みください

警告

- ❗ 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

注意

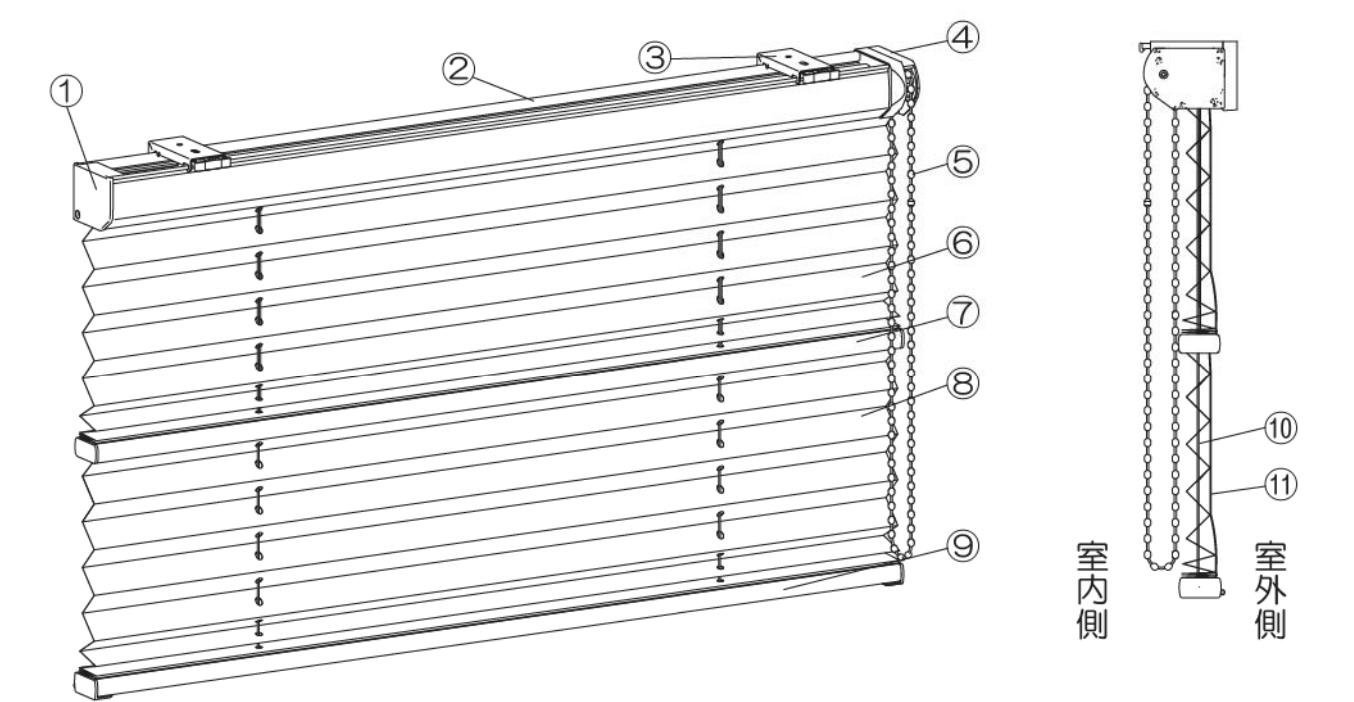
-  付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。
- ❗ 木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。
- ❗ 本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意（必ずお守りください）

注意

-  この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。
-  蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。
-  水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミなどが発生することがあります。
-  窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色することがあります。

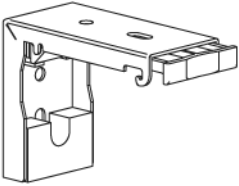
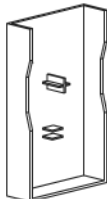
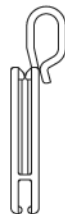
各部の名称



※製品幅により、昇降コード本数、位置が変わります。

① ボックスキャップ	⑤ 操作チェーン	⑨ ボトムレール
② ヘッドボックス	⑥ 上部生地	⑩ 昇降コード
③ 取付けブラケット	⑦ 中間レール	⑪ ピッチ保持コード
④ 操作部	⑧ 下部生地	

付属部品

部品名称	ブラケット	取付けビス	ブラケットキャップ	コードクリップ
				
製品幅(mm)				
～1500	2 個	4 本	2 個	1 個
1510～2500	3 個	6 本	3 個	
2510～2900	4 個	8 本	4 個	

※ブラケットキャップは、天井付けの場合のみ付属されます。

製品の取付けかた

必要な工具 ・ プラスドライバー ・ 巻尺（スケール）

1) 製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店・営業所までご連絡ください。

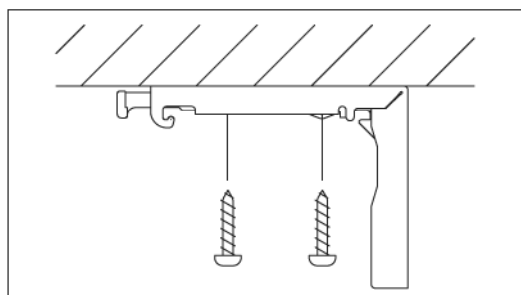
2) 取付け下地の確認

- ・ 製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- ・ 木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- ・ 木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
- ・ 取付部が水平になっているか確認してください。
- ・ 製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

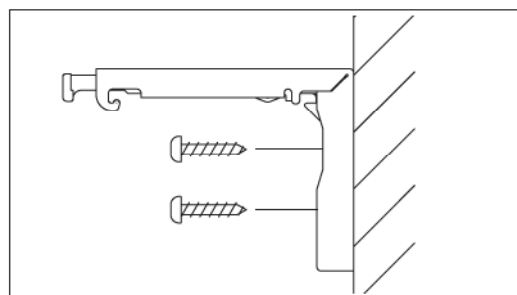
3) 取付けブラケットの取付け

取付けブラケットの取付けかたには、天井付けと正面付けがあります。

■天井付け(窓枠内に取付ける場合)



■正面付け(窓枠を覆う場合)

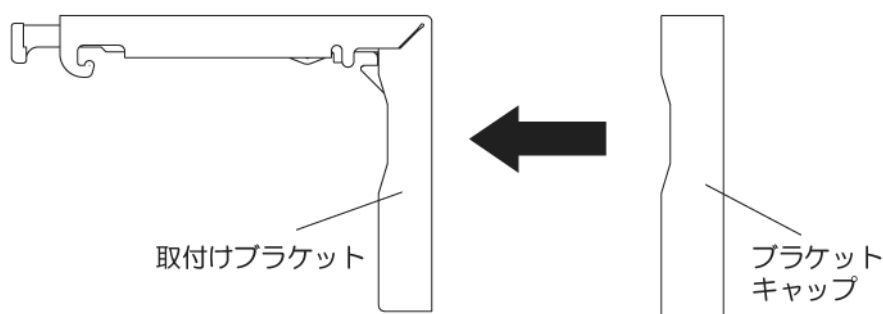


- ①取付けブラケットは製品の左右両端部からそれぞれ50～100mmの間にくるように位置を決めてください。ブラケットが3個以上（幅1510mm以上）になる場合は、ブラケットが均等かつ一直線になるように位置を決めてください。



- ②取付けブラケットを取付けビスでしっかりと固定してください。
③取付けブラケットが確実に固定されていることを確認してください。
④天井付けの場合、ブラケットキャップをブラケット背面に取付けてください。

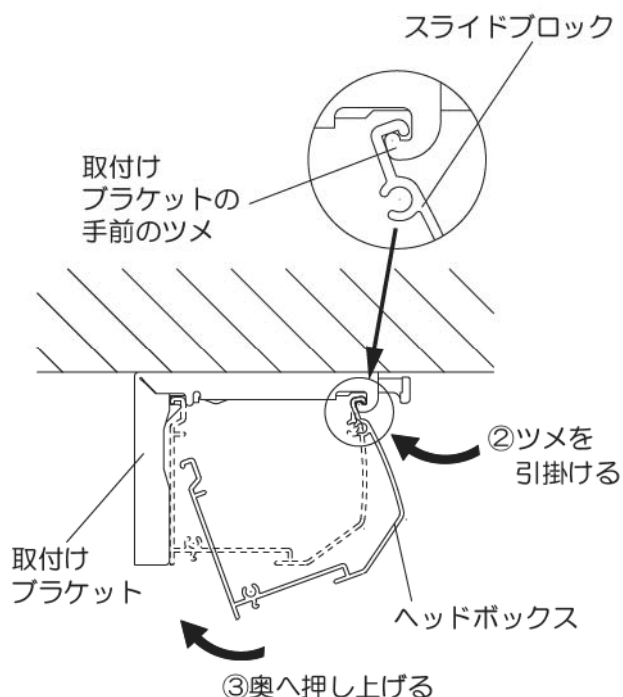
※正面付けの場合、
ブラケットキャップは使用しません。



製品の取付けかた

4) 製品の取付け

- ①「操作のしかた(P8)」に従い、生地を完全にたたみ込みます。
- ②製品を両手で持ち、ヘッドボックス手前のツメを取付けブラケット手前のツメに引っかけます。
- ③引っかけた状態で左右の位置を決め、ヘッドボックスを右図のように奥側に押し上げてください。取付けブラケットのツメがかかるとパチンと音がします。
- ④ヘッドボックスが確実に固定されているか確認してください。



注) 製品本体を取付ける際に、ピッチ保持コードを取付けブラケットにはさまないように注意してください。

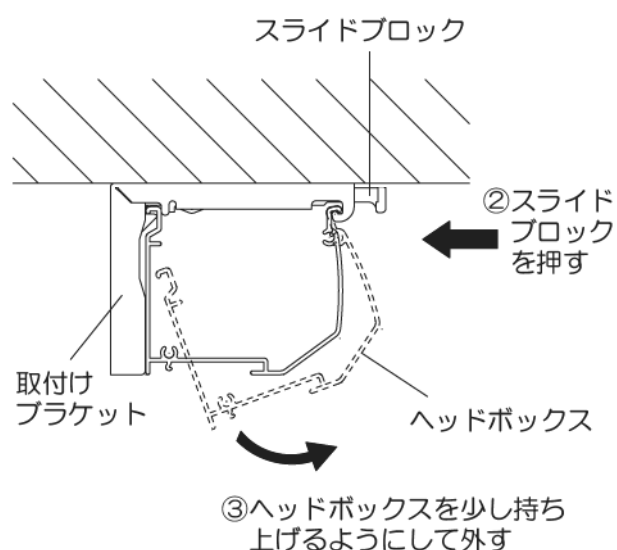


注意

製品取付け時には、取付けブラケットに製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

製品の取外しかた

- ①「操作のしかた(P8)」に従い、生地を完全にたたみ込みます。
- ②製品を手で支えた状態で取付けブラケットのスライドブロックを押すと、ヘッドボックス後側のロックが解除され、前面のツメだけが引っかった状態になります。
- ③②の状態からヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を取外してください。



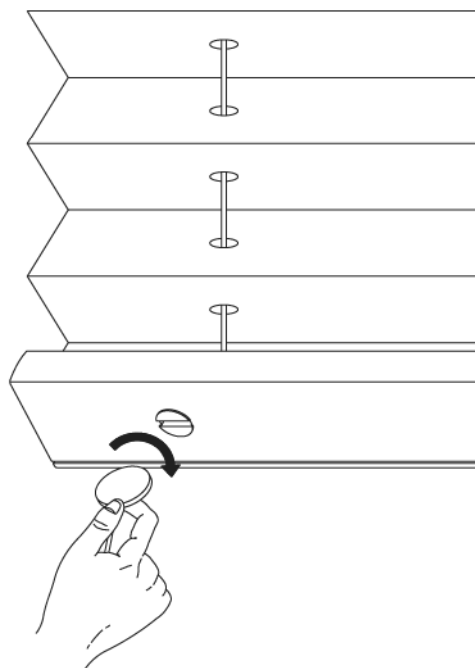
高さ調整機能（製品の高さを縮める方向に調整できる機能です）

窓枠や床面にぴったりと納めることができ、窓枠との不快な接触音を解消できます。

用意するもの ・ コインまたはマイナスドライバー

- ・ ボトムレール底面の高さ調整ねじにコインまたはマイナスドライバーを差込み、右に回転させると製品高さを縮めることができます。製品高さを確認しながら少しずつ調整をしてください。製品高さを縮めすぎた場合は、左に回すと元の長さに戻すことができます。
- ・ 調整の際は、製品についているすべての高さ調整ねじを同量回転させ、高さを合わせます。

最大約15mm高さを縮めることができます。



注意

高さ調整ねじを同じ方向に半周(180度)以上回さないでください。昇降コードや高さ調整ねじが傷み、故障の原因となります。

操作のしかた

1) 製品全体の昇降

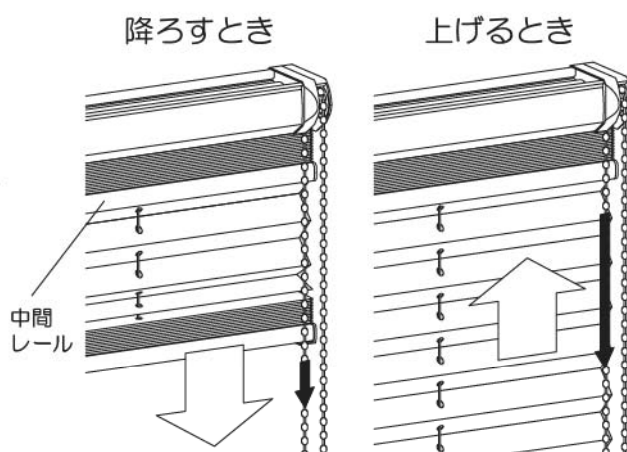
中間レールが一番上にあることを確認し、操作してください。中間レールが一番上でない場合は2)の方法で操作してください。

◆製品全体を降ろすとき

操作チェーンの奥側（室外側）を少し下に引き、手を緩めるとゆっくりと降ります。再び少し下に引くとその位置で止まります。

◆製品全体を上げるとき

操作チェーンの奥側（室外側）を下に引き続けると製品全体が上がります。手を離すとその位置で止まります。



※製品全体を降ろしている途中で、ボトムレールに障害物が当たると、その位置で製品は止まります。一度製品を上げて、製品の下にあるものを取り除いてから、もう一度操作してください。

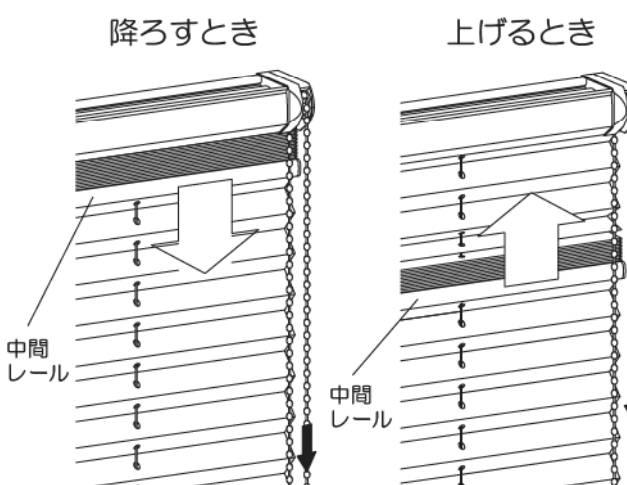
2) 生地（中間レール）の切替え

◆上部生地（中間レール）を降ろすとき

操作チェーンの手前側（室内側）を少し下に引き、手を緩めるとゆっくりと降ります。再び少し下に引くとその位置で止まります。

◆上部生地（中間レール）を上げるとき

操作チェーンの手前側（室内側）を下に引き続けると上部生地が上がります。手を離すとその位置で止まります。

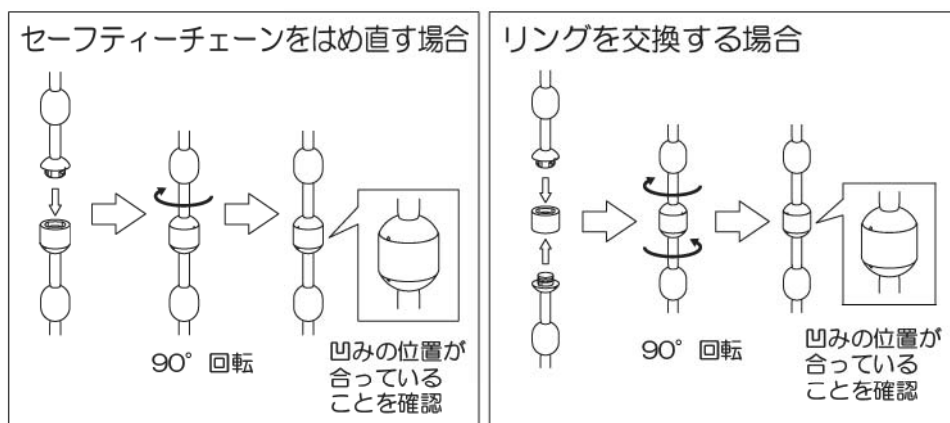


注意

- ・ 中間レールが一番上にない状態で全体の昇降操作をしないでください。製品全体を上げるときに、上部生地から昇降コードが飛び出したり、操作が重くなったりして故障の原因となります。また、製品全体を降ろすときに勢いよく下降する場合があります、けがや故障の原因となります。
- ・ 通常操作以上の過負荷（レールが上がりきっている状態でさらにチェーンを引き続けた場合など）がかかると、製品を保護するため、操作チェーンが空回りする装置が組み込まれています。故意に引っ張ると故障の原因となります。

操作のしかた

操作チェーンには、製品を安全で快適にご使用いただくため「セーフティーチェーン」を組込んでいます。これは、操作チェーンに通常操作以上の負担がかかった場合などに操作チェーンを分割させる仕組みの部品です。



操作中に外れてしまった場合、はめ直してご使用いただけますが、分割しやすくなることがありますので、リングを交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店・最寄りの弊社支店までご連絡ください。

お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取り払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。

こんなときは

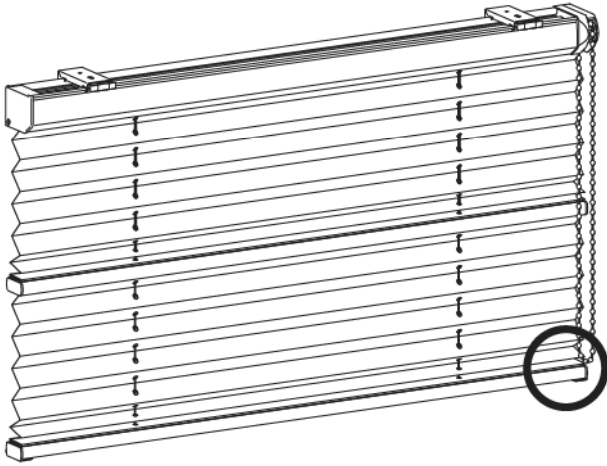
症 状	原 因	処 置
製品が途中で止まってしまう。	・ ボトムレールにもの（障害物）が当たっている。	・ 製品の下のもの（障害物）を取り除いてから、もう一度操作してください。
生地が下まで降りてこない。	・ 生地のパネ性が強い。	・ 製品を一番下まで降ろした状態で、手でボトムレールを引っばってください。
上部生地の昇降コードがはみ出ている。	・ 上部生地が下に降りたまま全体をたたみ上げた。	・ 「操作のしかた(P8)」に従い、下記の手順を行ってください。 ①製品全体を降ろしてください。 ②上部生地をたたみ上げてください。 ③製品全体をたたみ上げてください。
製品が落ちた。	・ 取付けビスが抜けた。	・ 取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	・ 取付けブラケットが破損している。	・ 取付けブラケットを交換してください。
	・ 製品が取付けブラケットに確実に固定されていなかった。	・ この取扱説明書にしたがって取付け直してください。

メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。

お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

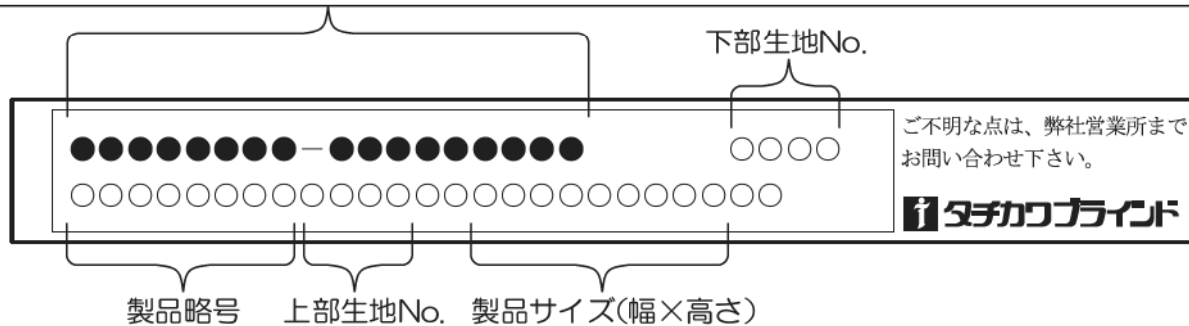
【メンテナンスシール貼付場所】



正面から見てボトムレールの右側底面

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、●部18桁（「－」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より3年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「生地部・コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より1年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。

- ・ 取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・ 天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び破損。
- ・ 特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。

転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。